■4/28　企業のための実践型インターンシップ設計ワークショップ　参加者アンケート

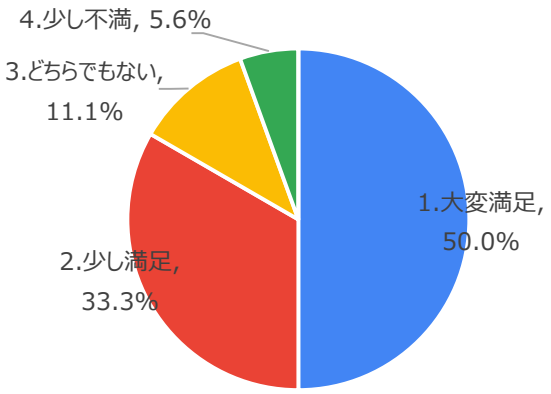
会 場：千葉商工会議所

参加状況

参加者数	22社	25名	
アンケート回収数	17社	18名	72.0%

Q1.本日のワークショップの内容はいかがでしたか？

1.大変満足	9	50.0%
2.少し満足	6	33.3%
3.どちらでもない	2	11.1%
4.少し不満	1	5.6%
5.大いに不満	0	0.0%
	18	



その理由をご記入下さい。

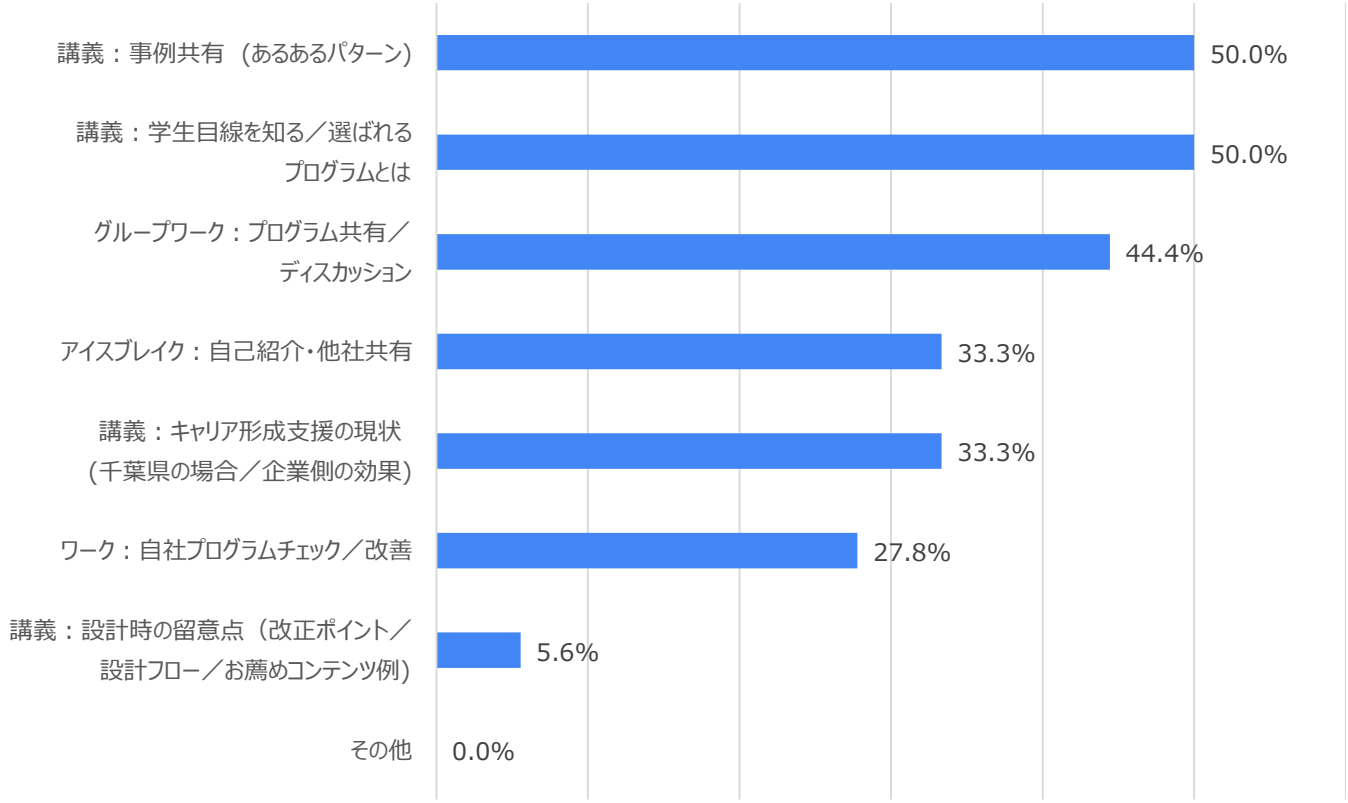
- 色々な意見が聞けました
- 現在の支援キャリアの現状・学生の傾向と、他企業の事例がわかり、参考になった。
- 現在の学生のことや様々な企業の事例を聞くことができ、新たな視点が得られました。
- 総務未経験で初めてインターンシップの内容ややり方について触れ、とても勉強になりました。
- 同じグループになった方々はインターンの実施経験がなく、当方のカリキュラムがお役に立てたから。
- 他社様とのインターンシップの比較や事例、効果的なインターンシップの内容などを知ることが出来た。
- 羽根井様や石橋様をはじめとして運営全体のサポートのあたたかさや下地先生の表現がわかりやすく、とても勉強になりました。
- 他社様がどのようなプログラムでインターンや職場体験を実施しているのか聞くことができましたし、先生からもイマドキ学生の特徴や傾向などをお聞きすることができたので、とても参考になりました。
- 他社の人事の方々とお話しする機会は非常に貴重であり、また、皆さまの発表を拝聴する中で、当社が実施しているインターンの意義や、今後取り組むべき課題について、改めて認識を深めることができました。今回の学びを今後に活かしてまいります。改めまして、ありがとうございました。

- インターンシップ実施にあたり、事前準備ができたと感じたため。
- グループ内にインターシップをこれから開催しようとしている会社しかなく他社の開催内容を参考にすることができな買った点
- グループ内シェア・発表に時間がかかり、後半はかなり急ぎ足になったのかなと感じました。本題に入る前の導入の部分で終わってしまったような感覚でした。
- インターンシップとしての策は学べましたが、私自身高卒出身だったこともあり大学生の就活スタイルをちゃんと理解できておらず、難しく感じる内容もありました。
- インターンの設計を体系的に学べた。グループワークが楽しかった。他社ご担当者さま（グループワークメンバー）のインターンや若手社員に対する取り組み・学生に対する視線や姿勢・本音（ポジ/ネガ両面）が聞けた。

- インターンは採用直結と考えているため
- 大学生（参加者）目線の内容が多いと感じた。インターンシップの学生満足度は高くないといけないのか疑問に感じた。学生は成長実感や経営の安定、これから伸びそう、社員同士のつながり等を知りたいとのことだったが、具体的な事例が知りたかった

- インターンシップの定義を初めに教えて欲しかったです

Q2.印象に残った内容について、教えてください。（複数選択可）

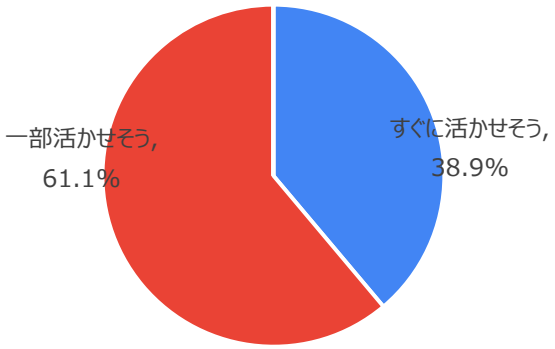


理由やご感想などをご記入下さい。

- 他社の意見も聞けて、参考になったため。
- 改めて自社の状態を客観的に見直すことができた。
- 業種をできるだけ合わせると悩みが同じグループになりそう。
- 実際に他社で行われているインターシップを見学する機会あればと思います。
- 学生がどのようなことを企業やインターンシップに求めているのかという動向を掴めたと感じるため。
- 他社様のインターンシップの策について、なかなか聞く機会はありませんでした。なのでとても有意義な時間になったと思います。
- 学生のことを考えてプログラムを計画していたつもりが実は学生の満足度はあまり高くないのかもしれないと考えさせられました。
- 採用という仕事を始めたばかりということもありますが、まずは「知る」という事で幅広い情報に触れる事ができたと感じております。
- 今まで自分たちでやってきたプログラムの中で、学生が喜ぶと思い組んでいた内容が、実は学生目線だとあまり実りの無いプログラムであったことを知ることが出来た。
- 企業側が良かれと思ってやっていたことが、学生には意外と響いていないケースもあるのだなと分かりました。グループワークでは、同じ班の皆様からいろいろな情報をお聞きすること尾ができて勉強になりました。
- 企業側が学生に話すべき内容がいくつか具体例を用いて紹介してくださったのが大変参考になりました。特に社長が参加可能な場合の話してもらう内容について、社長の苦労話や会社のターニングポイントはたしかに気になる部分だと思いました。
- 大学教授（下地先生）が見る・話す学生の視線なので、少しリアルさに物足りなさを感じました。インターンに実際に参加した学生がどれだけ教授に開示しているのか、わかりませんが、当事者の声ではなく2次情報になってしまうのは、しょうがないと思いますが、、、。
- アイスブレイクでは、各社様が採用に込めている思いや、インターンで伝えたい価値観を知ることができ、大変有意義でした。また、自社プログラムのチェックを通じて、現状の課題や不足している点を改めて認識することができました。他社様のプログラム内容や評価の観点を伺う中で、自社にも取り入れるべき点や、改善のヒントを多く得ることができました。非常に学びの多い、貴重なお時間をいただき、誠にありがとうございました。
- 他社事例を知ることが出来た
- インターンシップを変えていきます
- 導入会社の事例が参考になった
- 他社事例を知れたことが有意義だった。

Q3.本日の内容は自社で活かせそうですか？

すぐに活かせそう	7	38.9%
一部活かせそう	11	61.1%
あまり活かせなさそう	0	0.0%
活かせない	0	0.0%
その他	0	0.0%
	18	



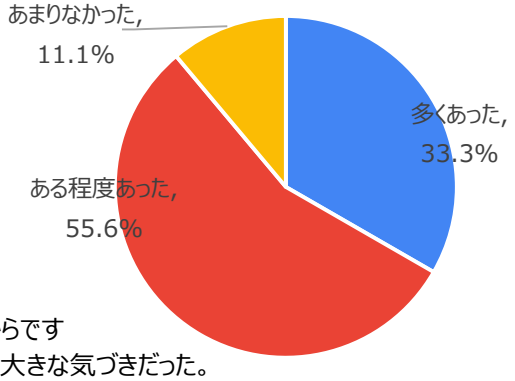
どのような点でそう思われたのかを具体的にご記入ください。

- プログラムの内容の見直しが必要なことが理解できたため
- ありきたりなインターシップを自分なら変えられると思ったからです
- プログラム設計をもっと仕事のリアルが伝えられる内容にしたいです。
- インターンシップ開催に向けて、全社的にスローガンを掲げていこうと思った。
- 学生目線の取り入れ
- 学生目線の取り入れや社員の都の関わりを多く下プログラム設計への見直し
- 学生の満足度が高まるインターンの要素について、具体的に理解することができ、大変有意義でした。また、他社様の事例も参考にしながら、自社プログラムのさらなる改善に取り組んでまいります。

- 導入について比較検討できる
- プログラム設計の見直し
- 学生のニーズに合わせたプログラムの組み直し
- インターンシップ開催の有無
- 3年目の職員に担当させ、研修コストとして捉えるとよいという視点は新しい発見になった。
- プログラム設計の見直し、社員の関わり方の改善。目的の設定と、丁寧な事前説明が必要なことがよく解った。
- 現場社員の協力が不可欠になるので、今後の協力要請の仕方や、学生に何を伝えたいのかを明確にするなどは実行していきたいと思います。
- 当社のメインターゲットは高校生なので、参加前（選択段階）での魅力づくりが主になるのですが、中身の設計も改めて見直ししたいと思いました。
- まだまだ社内の理解を得るところからではありますが、学生目線などなかなか知りえない情報をインターンシップの構成に落とし込む必要があると考えております。
- 設計の見直し是非取り組みたいと思います。そもそも設計という概念が欠けておりました。インターンという機会を、学生のみならず社員の成長機会と捉える点はたいへん参考になります。
- プログラム設計の見直し→誰にどんな内容を話してもらうのか、ある程度の根回しが必要だと感じた。内容がかぶってしまったり、この話できなかったな…ということもあったので、話すべき内容の洗い出しから始める必要があると感じました。

Q4.自社のインターンシップ設計について、新たな気づきはありましたか？

多くあった	6	33.3%
ある程度あった	10	55.6%
あまりなかった	2	11.1%
なかった	0	0.0%
	18	



具体的にどのような気づきがあったかをご記入下さい。

- 現場の理科と協力必要性と説明する社員のスキルアップの重要性
- 昔から10代や20代に伝えたいことがあったのでそれを伝えられる場だからです
- インターンシップの使い方により、社員への企業価値が深まるというのは大きな気づきだった。
- 他社の方々のインターシップについての考え方などの共有時、他社での問題や自社の問題点に近いものがあったためとても参考になった。
- 学生が就職した際、学んだことが活かせるように、どの企業でも出来るグループワークなどのプログラムを組んでいたが、弊社でしか体験できないプログラムを作ってあげることが大切なことを理解することが出来た。
- 今回の気づきとして、当社が良いと考えている内容と、学生が求めている体験との間に、一定のギャップがあることを実感いたしました。今後は、自社の考えを一方的に伝えるだけでなく、学生目線を取り入れたインターンシップ設計に取り組んでまいります。

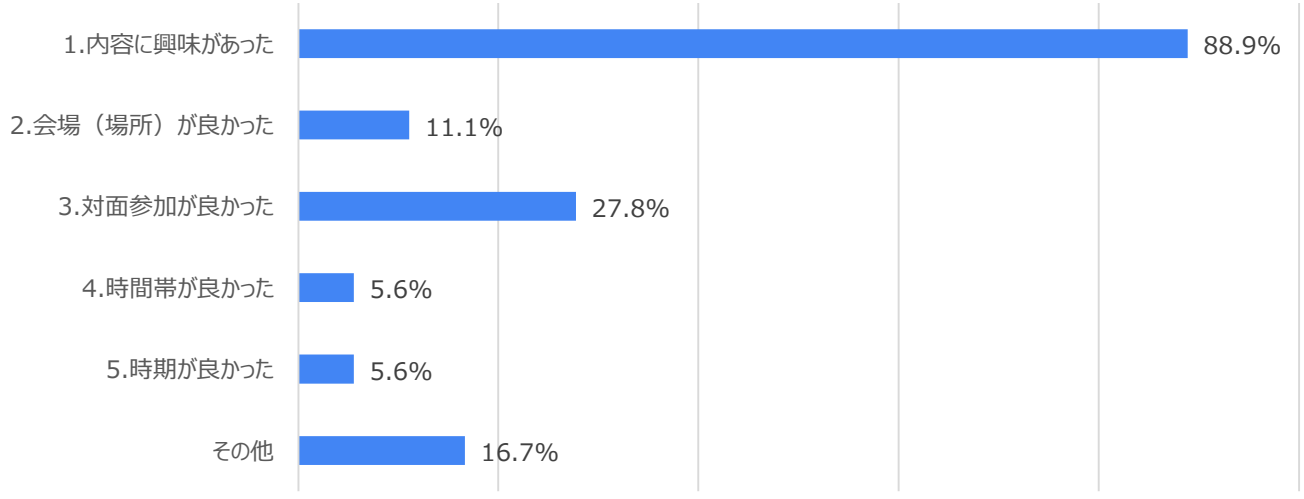
- 持続可能なプログラムを計画する必要があると思った
- インターンシップの定義
- 自社都合となってしまっている部分があるため、改善の余地があると感じた。
- インターンシップ開催の有無について

- ワークばかりなのでもっと現場に入り込んだ内容にするべきだなと感じました。
- 数年間実施ができていない為、明確な部分ではないですが、学生目線はしっかりとおさえてプログラムを作成しようと考えました。
- インターンを受け入れるからには、体験会ではなく、一員として実業務を担う機会を用意したいと考えました（簡単ではないと思います。具体案はまだ思いつきません。）
- 現状でもうまくできているなと感じる部分もありましたが、まだ足りていない、そこまで考えられてなかったなと思うものもあったので、そこに気づくことができて良かったと思います。
- 「自社の組織価値につながっている」という項目にチェックをつけられなかったので、職種体験だけではなく、当社がこの仕事を通して社会にどう役立っているのかを説明する時間を設けるべきだと感じました。
- ③-2のページで、学生の「社会認識」についての調査結果が大変参考になりました。私自身、23卒の4年目で、社会認識が出来ていないことを実感しながら社会人をしています。途中で叱り方についてのお話がありましたが、わたしもこの叱られ方なら納得するな、と思ったのと同時に自分が教育の立場になった時に正しい叱り方は出来るのだろうか？と考えるきっかけになりました。
- ない
- 特になし

Q5.今後、自社で取り組みたいことがあれば教えてください。

- 試験導入や大学イベントへの参加
- 社長への提言、プログラムの再設計
- 他の企業のコラボインターンシップをやります
- 社内共有やインターシップへの社内での目的の明確化
- 社内での理解度向上、その上でのインターンシップの開催
- 若手と一部スタッフを巻き込んだ具体的なプログラムの設計
- 今以上に他部署を巻き込んで求人活動を活発化させたいです。
- 社長の講義、自社のやりがいを若手社員から紹介する時間　など
- 特になし
- 職業体験など
- プログラムの再設計
- プログラムの再設定
- プログラムの再設計・社内共有
- 2日間のプログラ無の試験導入
- プログラムの再設計をしたいです。
- 今後の取り組みとしては、これまで通り実践的な業務体験の機会を提供してまいります。その上で、新たに年齢の近い社員や、可能であればOB・OGと交流できる時間を設けることで、よりリアルな働くイメージを持っていただけるインターンシップへと改善してまいります。

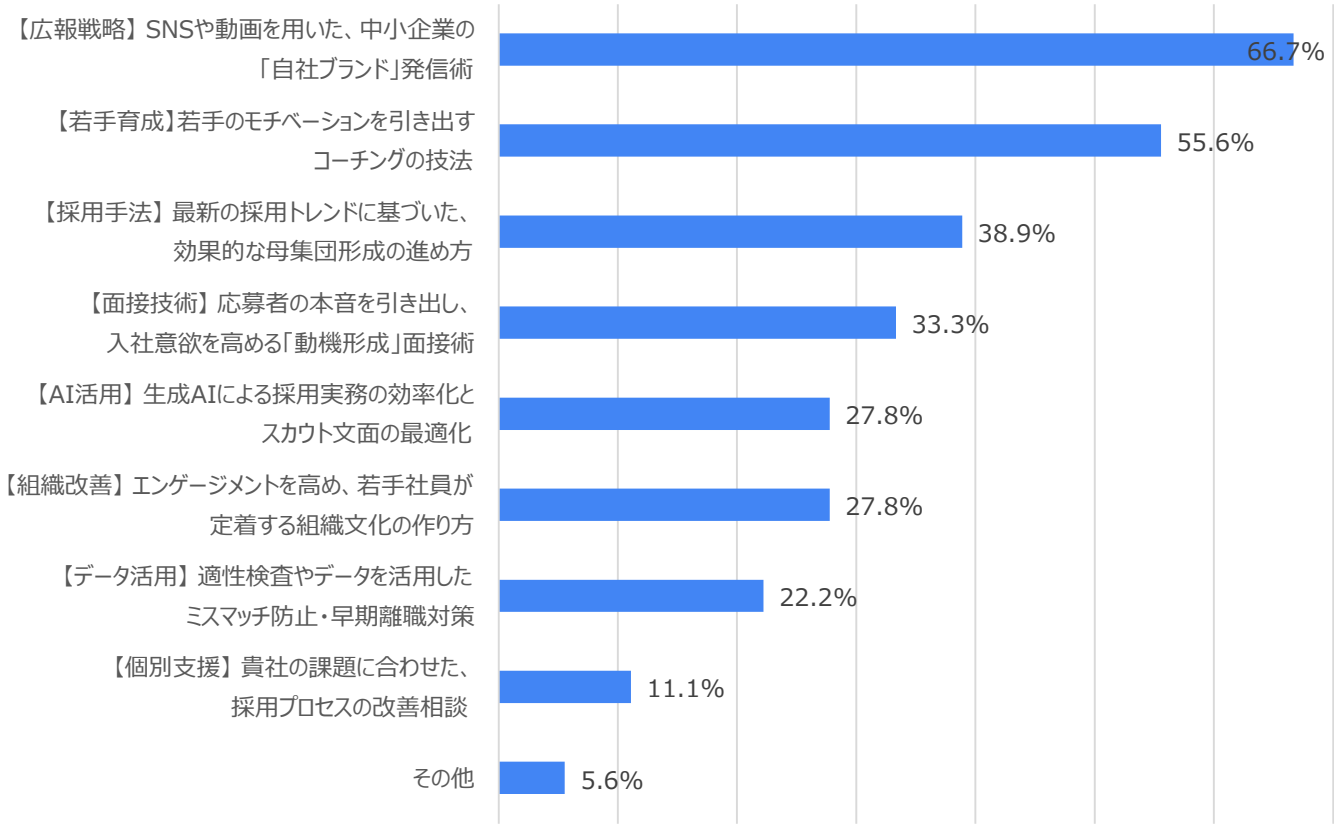
Q6.本日のワークショップ参加を決めた理由を教えてください。（複数回答可）



その他コメント

- 会社の要請
- 社員教育のため
- 下地さんが講師だったため。

Q7.今後取り上げて欲しいセミナー／プログラムをお聞かせください。（複数回答可）



その他コメント

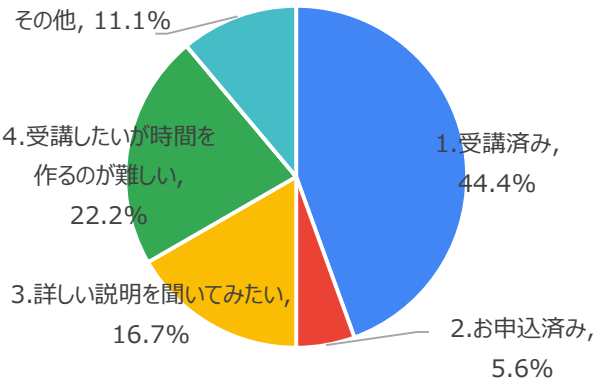
- 指導をする大人の経験値を上げるセミナー

その他、聞いてみたいセミナーコンテンツなど、ご要望をご入力ください。

- 中小企業における新卒採用
- 大学生向けインターンシップとは別に高校生向けインターンシップ（高卒採用）に特化したセミナーがもしあれば受講させていただきたいです。

Q8.当プロジェクトのビジネススクール形式の講座について教えてください。

1.受講済み	8	44.4%
2.お申込済み	1	5.6%
3.詳しい説明を聞いてみたい	3	16.7%
4.受講したいが時間を作るのが難しい	4	22.2%
5.興味なし	0	0.0%
その他	2	11.1%
	18	



その他コメント

- 上司により決まります
- 今まで参加したどの講座がこの質問にあたるのかわかりません…。

Q9.最後に、このワークショップや当プロジェクトに関して、ご意見やご感想があれば自由にご入力ください。。

- 月末・月初の開催は避けてほしい
- ワークショップ後のプロジェクトについては、上長と相談します。ありがとうございました。
- ありがとうございました。積極的な、活発なメンバーが多い会でしたので、参加して楽しかったです。
- 本日はお忙しい中、講習を開いていただきありがとうございます。今回の講習をもとにこれからのインターシップに取り組んでいけたらと思います。本日はありがとうございました。
- ありがとうございました。
- 本日はありがとうございました！

- 本日はワークショップありがとうございました！今後のインターンシップや求人活動全般における社内での周知、学生に対しての明確な目的など、検討するべき点が見つけられました。今回のワークショップで学んだことを、今後に活かせるよう頑張りたいです。ありがとうございました！
- 回答が遅くなり申し訳ございません。当日は大変勉強になりました。自社の悩みと他社の悩みが同じ部分にあるということも知る事ができました。「共育型」ということは自社にとってポイントになっていくのではないかと考えることもできました。今後も勉強させていただけたらと感じております。ありがとうございました。
- いつも大変興味深いワークショップやセミナーのご案内をいただき、誠にありがとうございます。これまでなかなか参加の機会を持てておらず心苦しく思っておりますが、今後は可能な限り積極的に参加させていただきたいと考えております。引き続きご案内をいただけますと幸いです。何卒よろしくお願いいたします。